

1 都市の現状整理

(1) 人口動向

本市の総人口は増加傾向にあります。世帯数も増加を続けていますが、世帯あたりの人員が縮小しています。

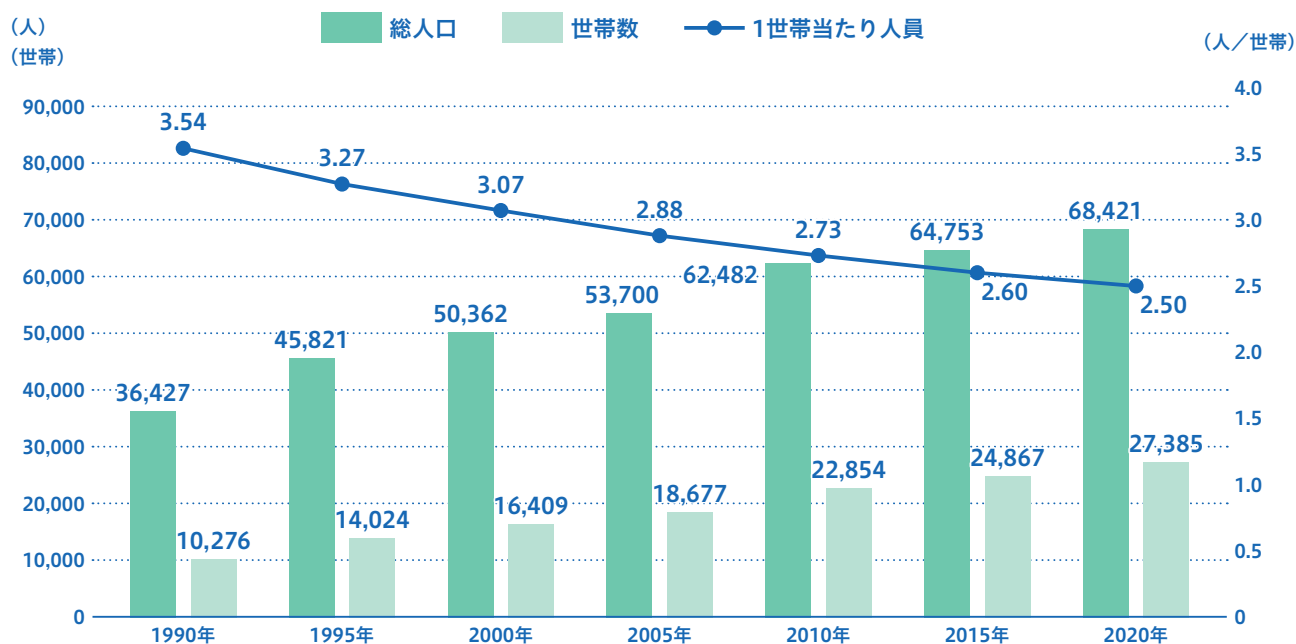


表2 総人口及び世帯数の推移 出典：総務省「国勢調査」を加工して作成

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（令和5(2023)年推計）」によれば、本市の今後の人口の見通しは、全国的な人口減少傾向に反して、緩やかに増加を続けることが見込まれています。人口年齢構成は今後緩やかに高齢化が進むものと見通されており、高齢化率は2020年の23.3%から2050年には31.4%まで上昇することが見込まれます。

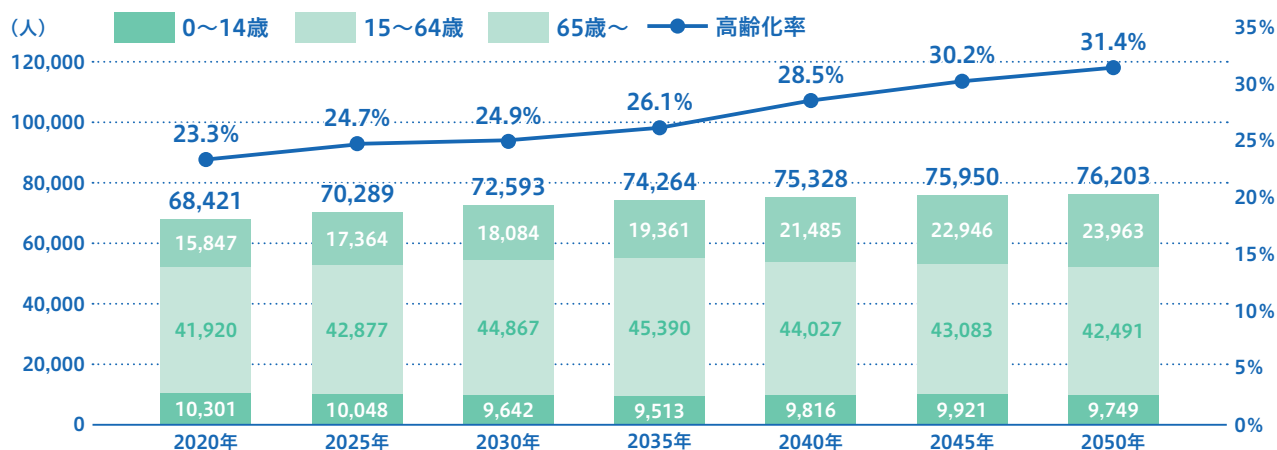


表3 本市の将来人口見通し 出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口令和5(2023)年推計」

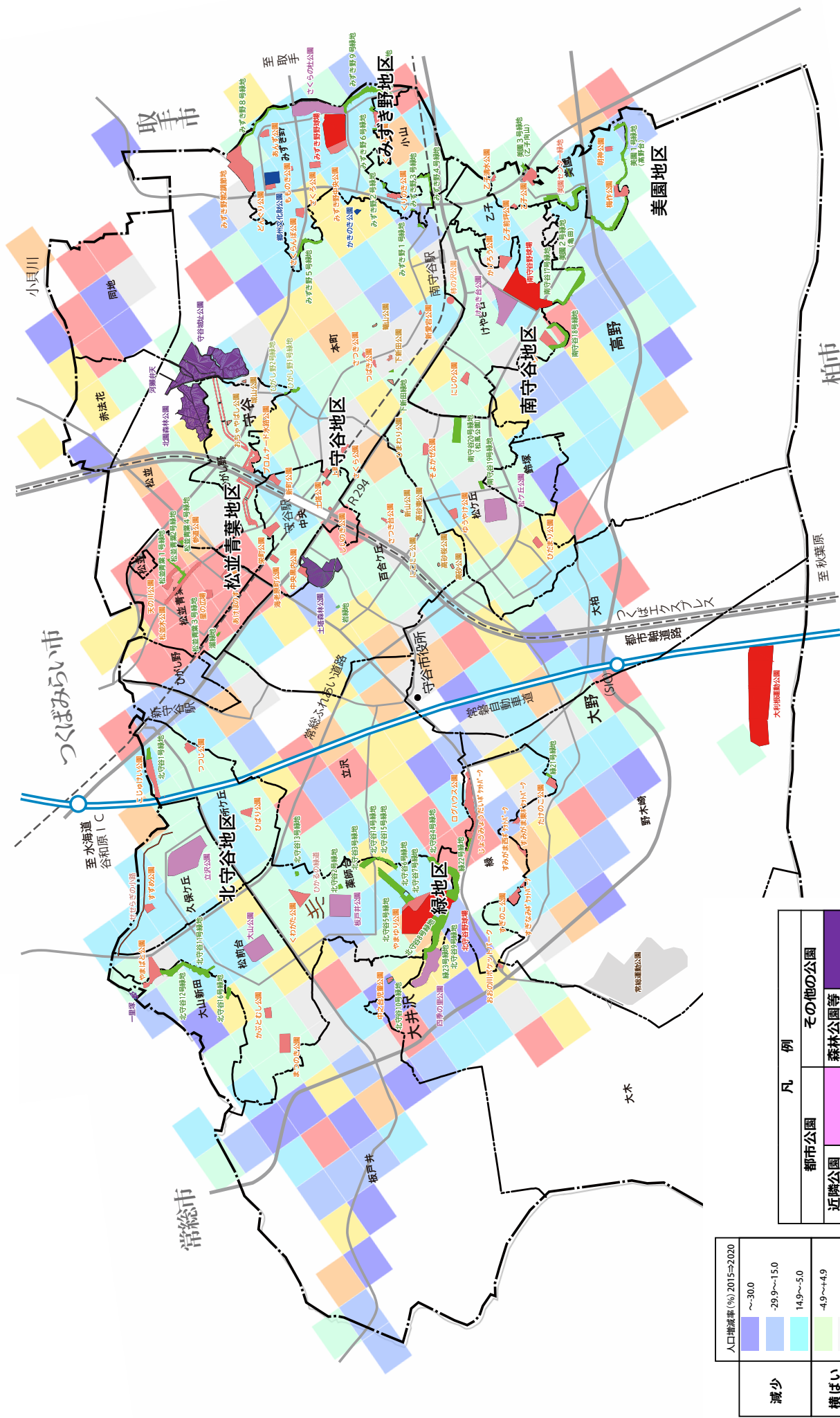
(2) メッシュ分析

本市の人口動向として、国勢調査の五次メッシュ統計（一辺250mの格子状に按分したもの）と市内の公園の位置を対応させることにより、公園が所在するメッシュの人口等の傾向を分析し、以下の表に、主な地区ごとの概ねの傾向を整理します。

表4 地区別のメッシュ分析

	松並青葉 地区	守谷地区	北守谷 地区	南守谷 地区	美園地区	みずき野 地区	緑地区
人口 増減率	増加	横ばい	減少	横ばい	減少	減少	減少
人口密度	高い	中程度～ 高い	中程度～ 高い	中程度～ 高い	高い	中程度～ 高い	低い
年少 人口比率	多い	少ない	少ない	少ない～ 中程度	少ない	少ない	少ない
生産年齢 人口比率	中程度	多い	中程度	中程度～ 多い	多い	少ない	少ない
老年 人口比率	少ない	少ない	中程度～ 多い	中程度～ 多い	中程度	多い	多い

図1 国勢調査250mメッシュ：人口増減率2015～2020年



	人口増減率(%) 2015～2020	
	減少	増加
横ばい	～30.0	+10.0～+24.9
	-29.9～-15.0	+25.0～+49.9
増加	14.9～5.0	+50.0～
	-4.9～+4.9	
	+5.9～+9.9	

凡 例	
都市公園	その他の公園
近隣公園	森林公園等
街区公園	緑 地
歴史公園	緑 道
都市緑地	運動施設
運動公園	

図2 国勢調査250mメッシュ：人口密度2020年

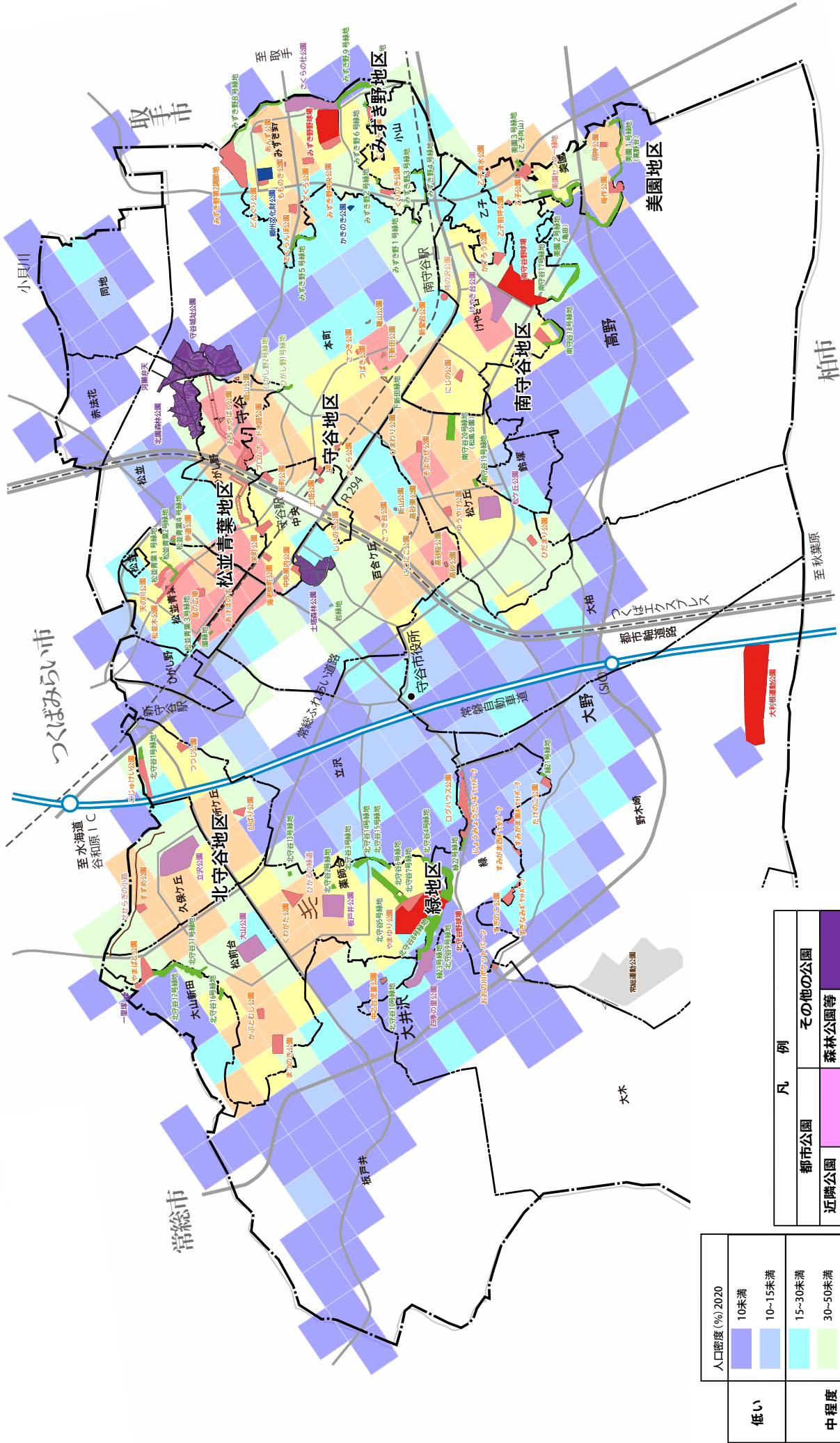
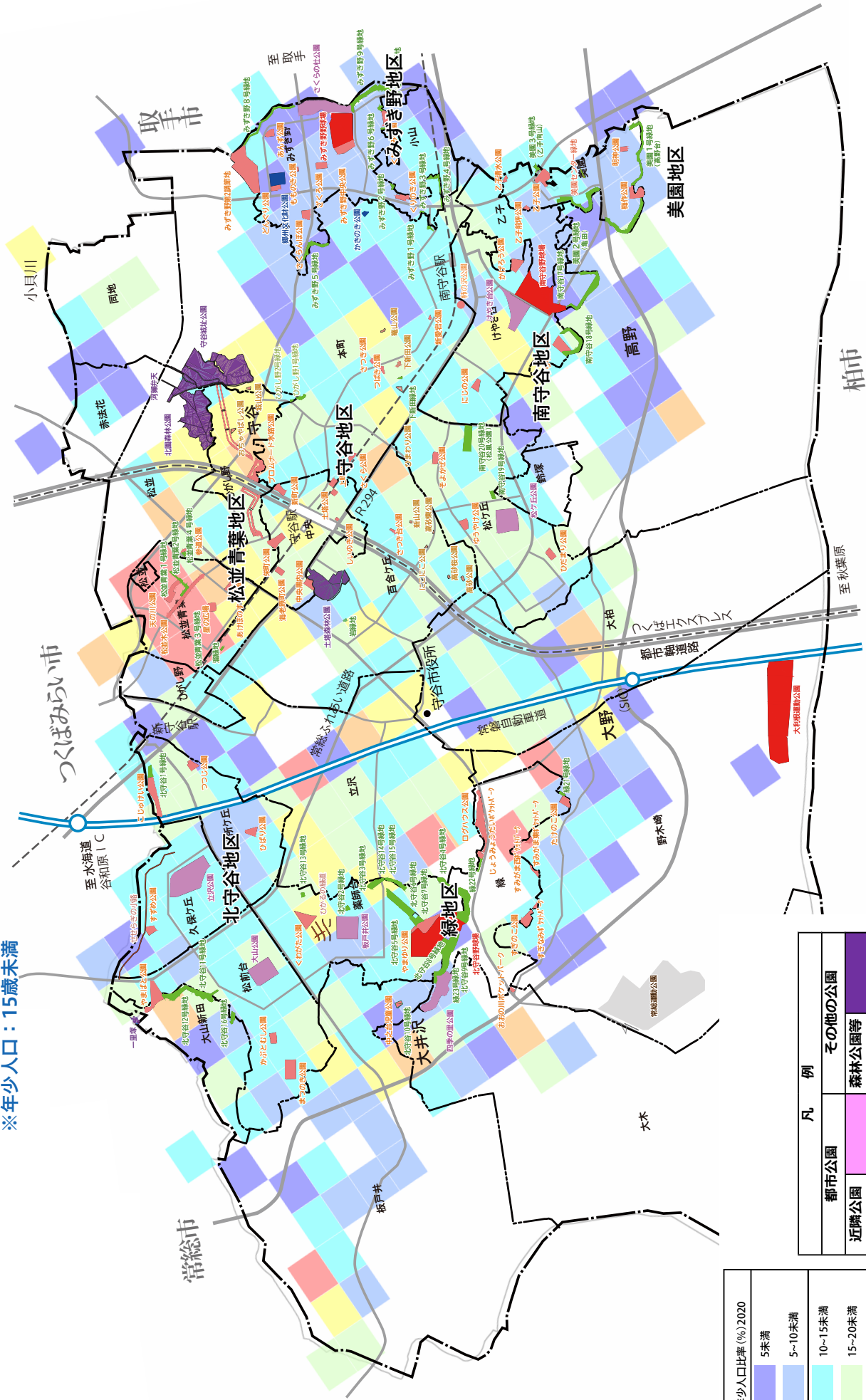
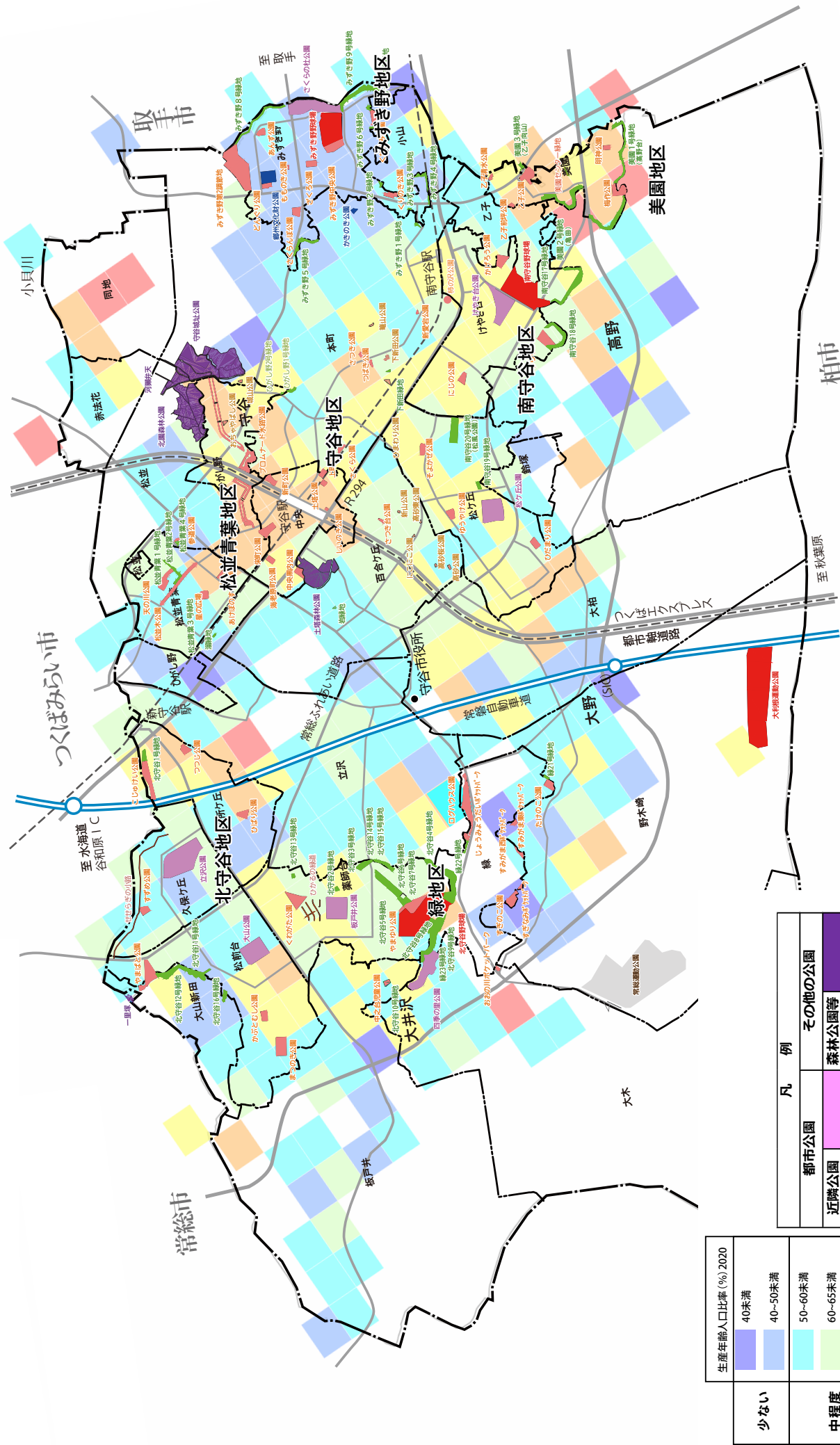


図3 国勢調査250mメッシュ：年少人口比率2020年
※年少人口：15歳未満



年少人口比率(%)2020	凡 例	
	都市公園	その他の公園
少ない	近隣公園	森林公園等
中程度	街区公園	緑 地
	歴史公園	緑 道
	都市緑地	運動施設
多い	運動公園	

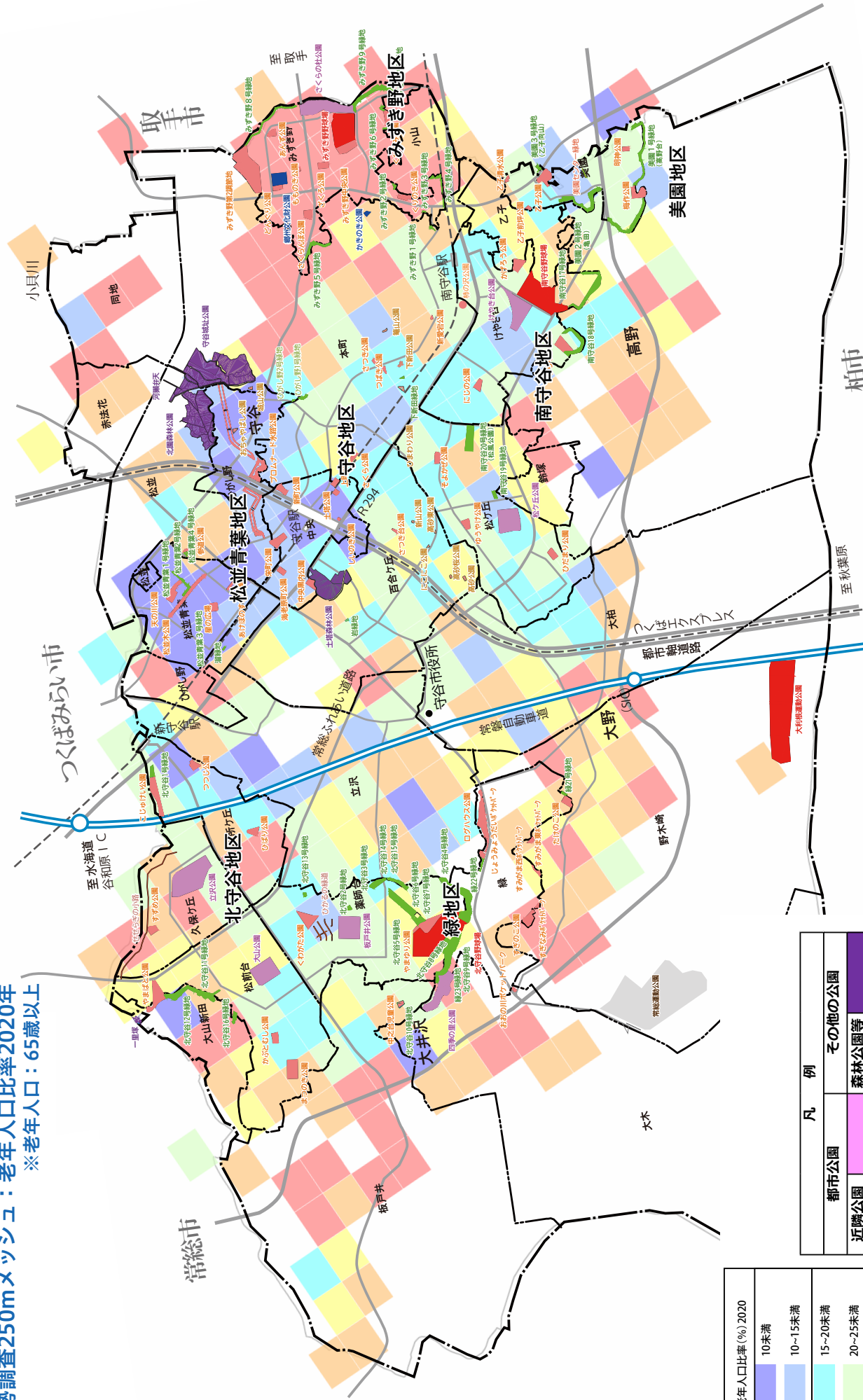
図4 国勢調査250mメッシュ：生産年齢人口比率2020年



生産年齢人口比率(%) 2020	凡 例	
	都市公園	その他の公園
少ない	40未満	近隣公園
中程度	40~50未満	街区公園
	50~60未満	歴史公園
	60~65未満	都市緑地
	65~70未満	運動公園
多い	70~80未満	
	80以上	

凡 例	
都市公園	その他の公園
近隣公園	森林公園等
街区公園	緑 地
歴史公園	緑 道
都市緑地	運動施設
運動公園	

図5 国勢調査250mメッシュ：老年人口比率2020年
※老年人口：65歳以上



少ない	老年人口比率(%) 2020					
	10未満	10~15未満	15~20未満	20~25未満	25~30未満	30~40未満
中程度						
多い						

凡 例	その他の公園					
	都市公園	近隣公園	街区公園	歴史公園	都市緑地	運動公園
		森林公園等	緑 地	緑 道	運動施設	

（３）法規制の状況

本市は取手市とともに「取手都市計画」を構成しています。取手都市計画区域は首都圏近郊整備地帯に位置するいわゆる線引き都市計画区域であり、区域は市街化区域と市街化調整区域に区分されています。

守谷市の都市計画区域面積は3,571ha、うち、市街化区域面積は985haで全域が用途地域に指定されており、残る2,586haが市街化調整区域となっています。大規模な工業団地以外は、住居系用途地域が多く、土地利用・建物利用も、住居系が主となっており、その住宅地内に、公園が多く立地しています。

その他の地域地区指定としては防火地域が11.1ha、準防火地域が2.8ha、高度地区が377.4ha、生産緑地地区が3.9haに指定されています。

（４）開発動向

本市では、表5に示すとおり主に土地区画整理事業により市街地が形成され、基盤整備から概ね 30年以上経過する市街地が多く見られます。

2005年（平成17年）には、つくばエクスプレスが開業し、都心へのアクセス（交通の便）が向上、守谷駅周辺で土地区画整理事業による市街地整備が進展し、2016年（平成28年）に松並青葉地区の土地区画整理事業の換地処分が行われるなど、都心への通勤に便利で自然環境に恵まれた住宅都市としての発展を続けています。

表 5 開発動向（面的整備）

地区名	事業着手	事業完了	事業手法	事業種別	総面積(ha)	計画人口
守谷市 みずき野	1979年 3月10日	1982年 9月7日	開発行為	住宅系	78.9	8,000
北守谷	1976年 5月26日	1990年 3月31日	土地区画整理事業 (都市計画決定しているもの)	住宅系	260.5	32,000
南守谷特定	1979年 1月26日	1992年 3月31日	土地区画整理事業 (都市計画決定しているもの)	住宅系	158.9	17,000
守谷町 工業団地	1988年 10月24日	1994年 3月31日	土地区画整理事業 (都市計画決定しているもの)	工業系	65.4	0
守谷町 乙子高野	1993年 9月9日	2000年 3月31日	土地区画整理事業 (都市計画決定しているもの)	住宅系	33.0	3,300
守谷東特定	1988年 12月12日	2007年 3月31日	土地区画整理事業 (都市計画決定しているもの)	住宅系	39.5	2,400
守谷駅周辺 一体型	1995年 2月6日	2010年 3月31日	土地区画整理事業 (都市計画決定しているもの)	住宅系	38.7	3,800
守谷市原東	2011年 10月5日	2014年 3月31日	土地区画整理事業 (都市計画決定していないもの)	住宅系	2.2	220
守谷市松並	2011年 6月13日	2017年 3月31日	土地区画整理事業 (都市計画決定しているもの)	住宅系	41.8	5,000

(5) 地区の類型化

メッシュ分析と、前述の公園・広場の現状をもとに守谷市の特性を踏まえると、次の表のように地区を類型化できます。

表6 地区の類型化

	地区類型 1 人口増加、 ファミリー世帯増加、 整備時期が新しい地区	地区類型 2 人口が横ばい、 働き盛り世帯が増加、 整備時期が中程度の地区	地区類型 3 人口が横ばい、 幅広い世帯が継続して居住、 整備時期が中程度の地区	地区類型 4 人口が減少、働き盛り世帯、 高齢者世帯共に増加、 整備時期が中程度の地区	地区類型 5 人口が減少、 高齢者世帯が増加、 整備時期が古い地区
人口増減	増加	横ばい	横ばい～減少	減少	減少
人口密度	高い	中程度～高い	中程度～高い	高い	中程度～高い
年少人口 (15歳未満)	多い	少ない	少ない～中程度	少ない	少ない
年産年齢 人口 (15歳以上 65歳未満)	中程度	多い	中程度～多い	多い	少ない
老年人口 (65歳以上)	少ない	少ない	中程度～多い	中程度	多い
開発動向 (時期)	新しい	新しい	中程度～古い	中程度	古い
公園 開設年度	新しい	新しい	中程度～古い	中程度	古い
地区	守谷（松並）	守谷（中央）	北守谷、南守谷、 けやき台、松ヶ 丘、立沢、守谷（百 合ヶ丘）、守谷（本 町）、守谷（ひがし 野）、鈴塚、大柏、 板戸井、高野	美園、乙子	みずき野、緑、 大山新田、 野木崎、大木

2 公園・広場の現状

本市の公園緑地は、1970～1980年代に市街地整備とあわせて整備された公園等が多く、2021年（令和3年）に、公園施設長寿命化計画を策定し、遊具や公園出入口の段差解消を中心に改修が行われています。

表7 本市の公園設置種類別設置年度

	公園数	設置年度				
		1979年以前	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代
街区公園	47	0	24	9	0	14
近隣公園	7	0	5	2	0	0
都市緑地	4	0	4	0	0	0
緑地	0	0	0	0	0	0
緑道	0	0	0	0	0	0
運動施設	0	0	0	0	0	0
森林公園等	3	1	1	1	0	0
歴史公園	0	0	0	0	0	0
合計	61	1	34	12	0	14
割合	100%	1%	56%	20%	0%	23%

各地区の公園の例

①守谷（松並青葉）地区 天の川公園（街区公園）

- ・地区の特徴 人口増減率：増加、人口密度：中程度～高い
年少人口比率：多い、生産年齢人口比率：中程度、老年人口比率：少ない
- ・出入口、園路は移動円滑化ガイドラインへ対応している。
- ・ベンチ、水飲み場は移動円滑化ガイドラインへ対応している。かまどベンチあり。
使用に問題ないが老朽化は進行している。
- ・遊具は独立遊具、遊具周りはクッション性のある安全に配慮した舗装、
付近に親が子供を見守ることのできるシェルターとベンチあり。
- ・水路沿いロープ柵の支柱が不朽、更新の必要あり。
- ・樹林地はなく開けている。一部のベンチ付近で植栽が成長している。
- ・サインは多言語、点字非対応。
- ・視覚障害者誘導用ブロックなし。



出入口



遊具



植栽

②守谷（中央）地区 栄町公園（街区公園）

- ・地区の特徴 人口増減率：横ばい、人口密度：中程度
年少人口比率：中程度、生産年齢人口比率：多い、老年人口比率：少ない
- ・出入口、園路は移動円滑化ガイドラインへ対応している。
- ・テーブルセット等の休憩施設、水飲み場は移動円滑化ガイドラインへ対応している。
- ・遊具は複合遊具1基のみ、遊具周りは芝生、付近にベンチが配置されている。
- ・植栽は問題なく、樹林地はなく開けている。
- ・サインは多言語、点字非対応。
- ・視覚障害者誘導用ブロックなし。



出入口・園路



テーブル・ベンチ



遊具

③北守谷地区 くわがた公園（街区公園）

- ・地区の特徴 人口増減率：横ばい、人口密度：高い
年少人口比率：少ない、生産年齢人口比率：中程度、老年人口比率：少ない～中程度
- ・出入口、園路は移動円滑化ガイドラインへ対応、一部、縁石の段差（約5cm）がある出入口あり。道路・緑道側どちらからのアクセス可。
- ・ベンチ、水飲み場は移動円滑化ガイドラインへ対応している。かまどベンチあり。
- ・ダスト舗装の広場は植栽が混入し、半草地となっている。
- ・バリアフリートイレあり。
- ・遊具は単体遊具、複合遊具、遊具周りはダスト舗装、遊具付近にシェルター＋ベンチあり。健康遊具はなし。
- ・植栽は全体的に大きく育っているが維持管理がされている。
- ・視覚障害者誘導用ブロックなし。サインは多言語、点字非対応。
- ・地域イベントに活用されている。（くわがた亭 ※カフェ）



出入口



バリアフリートイレ



遊具

④北守谷地区 立沢公園（近隣公園）

- ・地区の特徴 人口増減率：横ばい、人口密度：中程度～高い
年少人口比率：中程度、生産年齢人口比率：少ない～中程度、老年人口比率：中程度～多い
- ・出入口は移動円滑化対応、園路は一部移動円滑化対応（部分的に急勾配箇所あり）。
- ・ベンチ、水飲み場は移動円滑化ガイドラインへ対応している。
- ・バリアフリートイレあり（付近に監視カメラあり）。
- ・車椅子利用者優先駐車スペースあり。
- ・遊具は単体遊具、複合遊具、健康遊具。利用者層に合わせてある程度エリア分けしている。遊具周りは芝生、ダスト舗装。遊具付近にベンチあり。
- ・樹木は大きい、維持管理がされている。
- ・視覚障害者誘導用ブロックなし。サインは多言語、点字非対応。
- ・地域イベントに活用されている。



出入口



車椅子利用者優先駐車場



遊具

⑤南守谷地区 かげろう公園（街区公園）

- ・地区の特徴 人口増減率：減少～横ばい、人口密度：中程度
年少人口比率：少ない～中程度、生産年齢人口比率：中程度、老年人口比率：中程度
- ・出入口は移動円滑化対応、園路は移動円滑化非対応、階段のみ（手すりなし）の箇所あり。
- ・水飲み場は移動円滑化ガイドラインへ対応している。ベンチに不朽あり。
- ・遊具は単体遊具、複合遊具、健康遊具。遊具と健康遊具はエリア分けしている。
- ・宅盤が2段となっている。上段の健康器具のある広場へのアクセスは階段のみ。遊具周りはダスト舗装、遊具付近に藤棚+ベンチあり。
- ・植栽は全体的に大きく育ち、密度が高い。
- ・サインは多言語、点字非対応。
- ・視覚障害者誘導用ブロックなし。



出入口



ベンチ



遊具

⑥南守谷地区 けやき台公園（近隣公園）

- ・地区の特徴 人口増減率：減少～横ばい、人口密度：中程度～高い
年少人口比率：中程度、生産年齢人口比率：中程度、老年人口比率：少ない～中程度
- ・出入口、園路は移動円滑化対応、階段には手すりあり。
- ・ベンチ、水飲み場は移動円滑化ガイドラインへ対応している。かまどベンチあり。
- ・バリアフリースイレあり（付近に監視カメラあり）
- ・車椅子利用者優先駐車スペースあり
- ・遊具は単体遊具、複合遊具、健康遊具がありエリア分けしている。
遊具周りはダスト舗装、付近にパーゴラやベンチあり。
- ・樹木は大きい、維持管理がされている。芝生の維持管理がされている。
- ・視覚障害者誘導用ブロックなし。
- ・サインは多言語、点字非対応。
- ・地域イベントに活用されている。



出入口



バリアフリースイレ



健康遊具

⑦美園地区 乙子公園（街区公園）

- ・地区の特徴 人口増減率：横ばい、人口密度：中程度～高い
年少人口比率：少ない～中程度、生産年齢人口比率：中程度～多い、老年人口比率：少ない～中程度
- ・出入口は移動円滑化ガイドラインに対応しており、園路は一部対応している。
- ・ベンチ、水飲み場は移動円滑化ガイドラインへ対応している。かまどベンチあり。
- ・バリアフリースイレあり（付近に監視カメラあり。）
- ・遊具は単体遊具、複合遊具、健康遊具。遊具と健康遊具はエリア分けしている。遊具周りは芝生、
遊具付近にベンチ、テーブルセットあり。
- ・芝生の維持管理がしっかりできている。一部樹林地の密度が高い。
- ・視覚障害者誘導用ブロックなし。
- ・サインは多言語、点字非対応。



出入口



バリアフリースイレ



遊具

⑧みずき野地区 みずき野中央公園（街区公園）

- ・ 地区の特徴：人口増減率：減少、人口密度：中程度

年少人口比率：少ない、生産年齢人口比率：少ない、老年人口比率：多い

- ・ 出入口は移動円滑化ガイドラインへ対応、園路は一部対応（主要施設はアクセス可）、部分的に勾配がきつい箇所あり、根上り箇所が多い。
- ・ ベンチは移動円滑化対応、水飲み場は移動円滑化非対応。
- ・ 駐車場あり。車椅子利用者優先駐車スペースなし。
- ・ 遊具は単体遊具、複合遊具、健康器具。利用者層に合わせてある程度エリア分けしている。遊具周りはダスト舗装、付近にベンチ等休憩施設の配置はない。
- ・ 樹木が大きく、密度も高い。
- ・ 視覚障害者誘導用ブロックなし。
- ・ サインは多言語、点字非対応。
- ・ ダスト広場とステージがあり、地域イベントに活用されている。



出入口・園路



根上り



ダスト広場+ステージ

⑨緑地区 ログハウス公園（街区公園）

- ・ 地区の特徴：人口増減率：減少～増加、人口密度：低い

年少人口比率：中程度、生産年齢人口比率：中程度、老年人口比率：多い

- ・ 出入口、園路は移動円滑化ガイドラインへ対応、一部階段のみの箇所あり。
- ・ ベンチ、水飲み場は移動円滑化対応、かまどベンチあり。
- ・ バリアフリートイレあり。
- ・ 車椅子利用者優先駐車スペースあり。
- ・ 遊具は単体遊具、複合遊具、健康遊具。遊具と健康遊具はエリア分けをしている。遊具周りは芝生、付近に藤棚とベンチあり。
- ・ 植栽は全体的に大きく育っているが維持管理がされている。
- ・ 視覚障害者誘導用ブロックなし。サインは多言語、点字非対応。
- ・ 国際交流研修センターがあり、地域イベントで活用されている。



出入口



車椅子使用者用駐車場

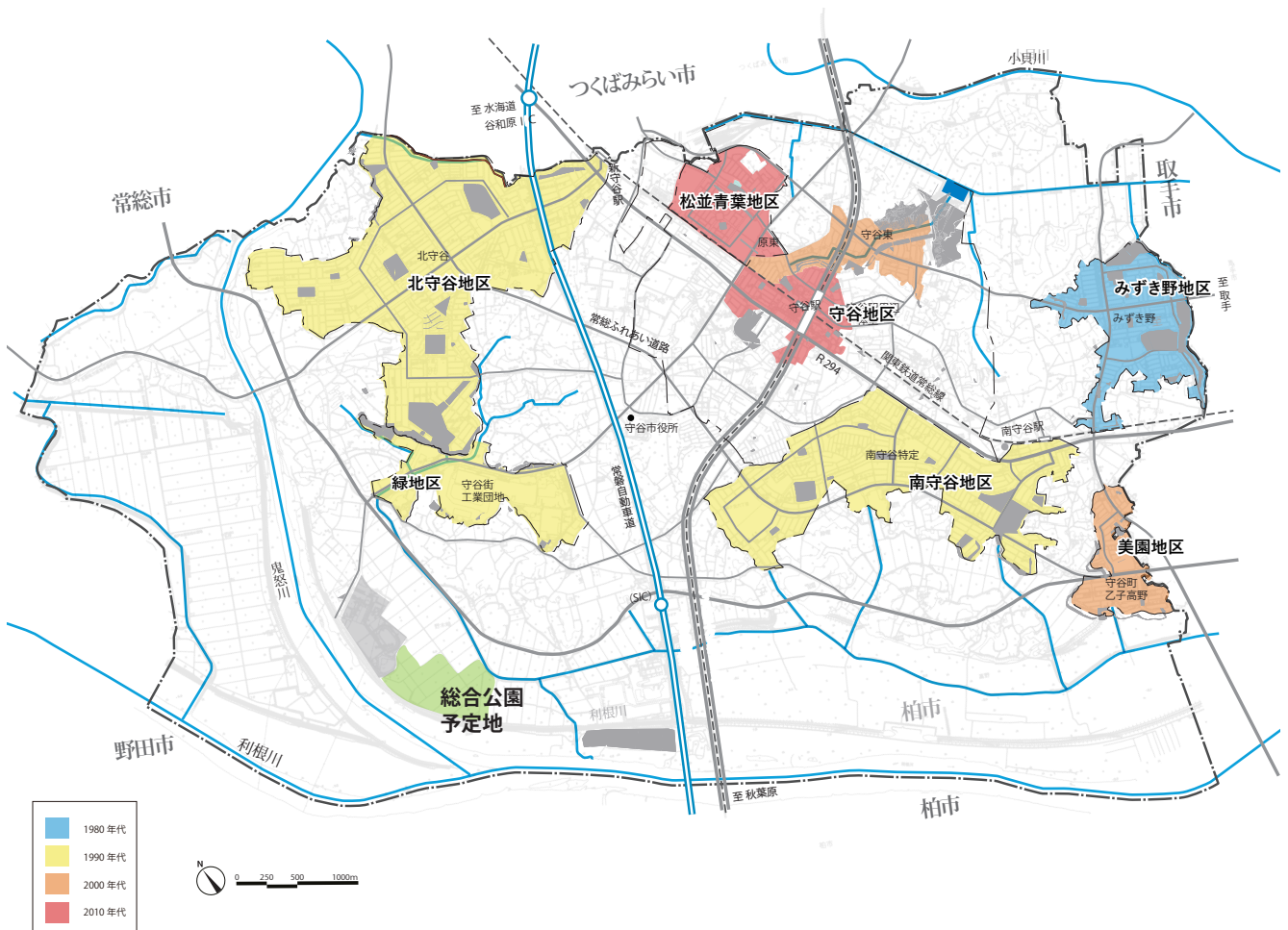


遊具

3 公園・広場の課題

- ・本市では 1970 年（昭和 45 年）の市街化区域線引き実施以降、計画的な開発に合わせて市街地の拡大が順次行われ、面的整備に合わせて公園広場の整備が進められてきました。
- ・将来の人口増減率をみると、守谷駅周辺などで30～50%以上増加する地域が見られる一方、みずき野地区や北守谷地区のニュータウンでは人口減少が顕著になることが想定されています。また、住宅団地では高齢化が急激に進むことが予測され、みずき野地区でこの傾向が顕著となっています。
- ・特に、1980年代に設置された公園広場が多いことから、一斉に公園施設の老朽化が進むことが想定され、本市では公園施設長寿命化計画を策定し、計画的に更新等を行っています。
- ・この地区特性を踏まえて将来の公園広場の整備や公園広場の更新を考えることが必要です。また、新規の総合公園の整備も計画されているため、留意する必要があります。

図7 開発動向図



※事業完了年度で整理

図8 人口増減率分布図 2015年⇒2035年 出典：守谷市立地適正化計画

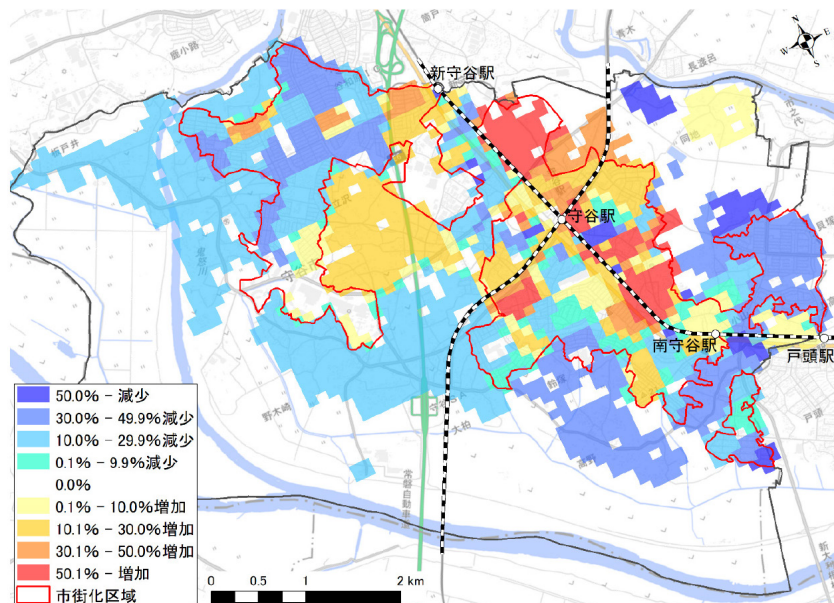
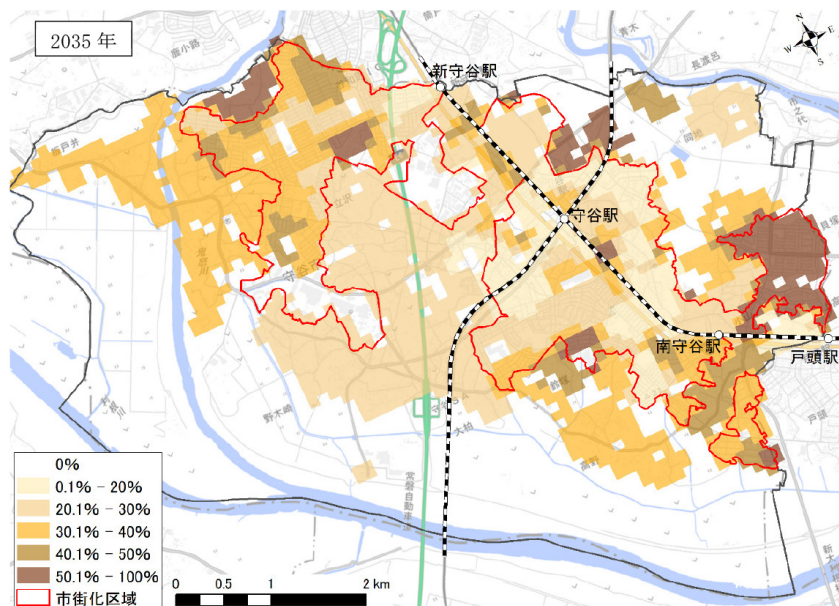


図9 2035年の高齢化率 出典：守谷市立地適正化計画



令和6年2月10日～令和6年2月29日に実施した市民アンケートでは「公園でボール遊びがしたい。」「自動車でいきたいので駐車場を整備してほしい。」「安全なトイレを整備してほしい。」という意見が多く挙げられました。現在ボール遊びができる公園、駐車場のある公園とトイレのある公園は図10のとおりです。

〈参考〉現在の状況

○ボール遊びのできる公園

- 常総運動公園
- 大利根運動公園
- みずき野球場
- 南守谷野球場
- 北守谷野球場
- 板戸井公園（野球）
- 松ヶ丘公園（テニス）
- 立沢公園（テニス）

○駐車場の公園

- 常総運動公園
- 立沢公園
- 北園森林公園
- 守谷城址公園
- 南守谷野球場
- 北守谷野球場
- 板戸井公園
- 松ヶ丘公園
- 四季の里公園
- さくらの杜公園（街区公園）
- ログハウス公園（街区公園）
- みずき野中央公園（街区公園）
- 大利根運動公園

○トイレのある公園

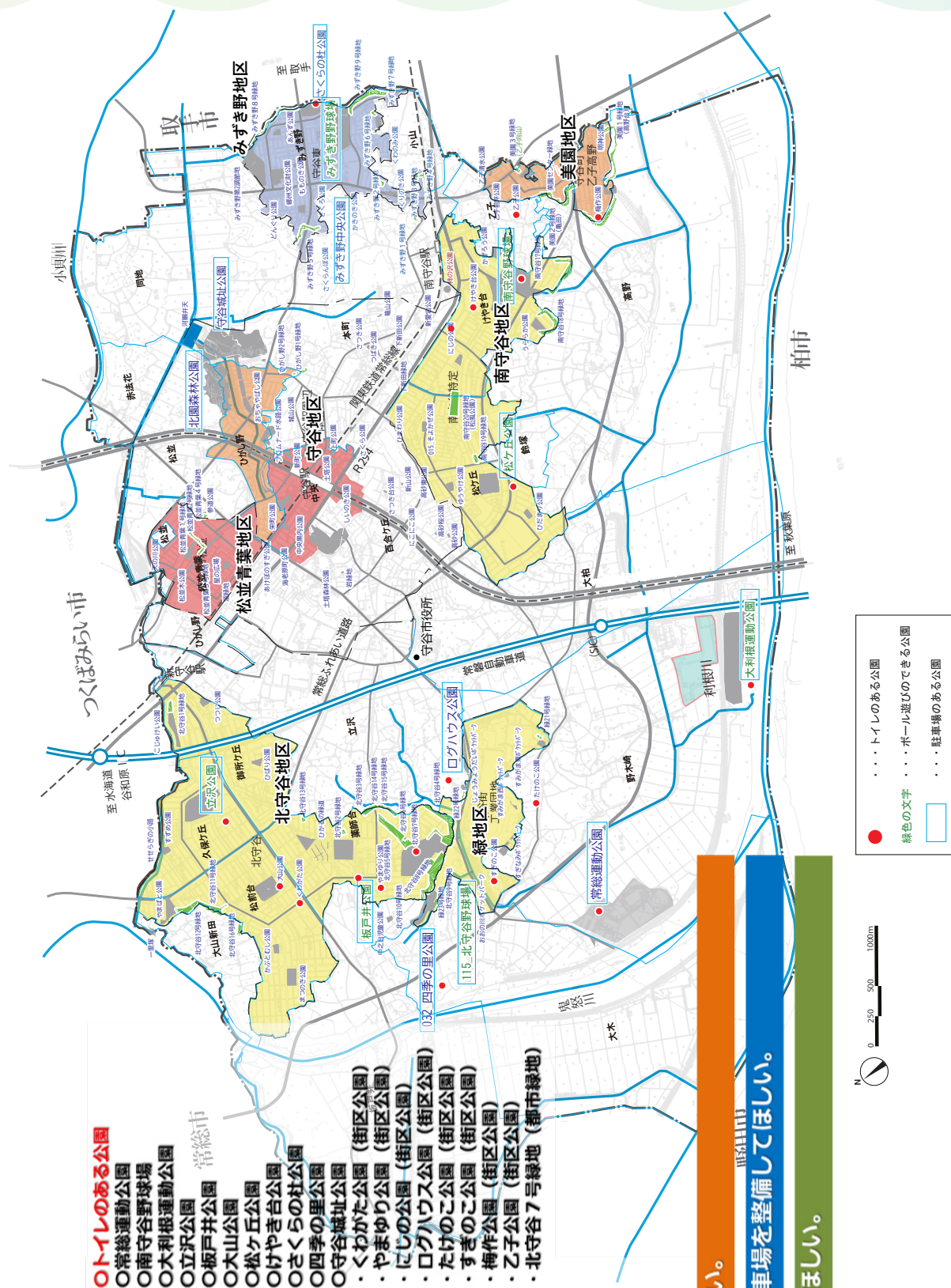
- 常総運動公園
- 南守谷野球場
- 大利根運動公園
- 立沢公園
- 板戸井公園
- 松ヶ丘公園
- けやき台公園
- さくらの杜公園
- 四季の里公園
- 守谷城址公園
- ・くわがた公園（街区公園）
- ・やまゆり公園（街区公園）
- ・にじの公園（街区公園）
- ・ログハウス公園（街区公園）
- ・たけのこ公園（街区公園）
- ・すぎのこ公園（街区公園）
- ・梅作公園（街区公園）
- ・乙子公園（街区公園）
- ・北守谷7号緑地（都市緑地）

○大規模の公園

公園でボール遊びがしたい。

自動車で行きたいので駐車場を整備してほしい。

安心なトイレを整備してほしい。



- トイレのある公園
- 緑色の文字 ボール遊びのできる公園
- 駐車場の公園

図10 ボール遊び・駐車場・トイレのある公園

4 現状・課題の整理と対応の方向性

本市の人口動向、公園広場の現状、課題と対応の方向性を整理します。

（１）人口動向、土地利用等、地区ごとに異なる地域特性への対応

- ・公園施設長寿命化計画を策定し、遊具施設や公園出入口の段差解消が進められていますが、従前の機能を維持することや樹木の剪定、伐採等の維持管理が重視されています。
- ・一方、前述のメッシュ分析からは、子ども世代が多い地区や、高齢者の多い地区など、様々な地域特性を持っています。
- ・今後、公園の適切な利用促進や将来に亘る機能の保持という観点からは、公園施設内の利用実態や周辺の土地利用、人口動向、将来を考慮して、適切な機能を果たしているかを検証し、自然環境を活かしながら地区ごとに異なる地域特性に対応する必要があります。
- ・市民アンケートでは、「公園でボール遊びがしたい」、「自動車で行きたいので駐車場を整備して欲しい」、「安心なトイレを整備して欲しい」等の意見が挙げられていますが、小さい公園でボール遊びをすると、道路への飛び出し等が懸念され、駐車場は小さい公園に整備すると、住宅地内への自動車交通量の増加等も想定されます。そのため、大規模な公園と小規模な公園で適正に役割分担をして、公園機能を配置する必要があります。

（２）公園利用者、周辺住民の意向への対応

- ・インクルーシブな公園広場は、心身の障がいの有無、国籍、年齢に関わらず、どんな人でも利用できる、過ごしやすい空間にすることが必要であることから、公園利用者、周辺住民の意向に対応する必要があります。

（３）計画的な修繕・維持管理と、有効活用への対応

- ・守谷市は現在、人口増加の傾向にありますが、将来は全国の動向と同様に減少に転じることが見込まれます。これらを踏まえて、計画的な修繕や維持管理を検討し、公園の有効活用を図る必要があります。

表 8 現状・課題の整理

項目	課題
人口動向から 見た課題	・ 周辺の人口動向が変化し、現在のニーズと現在の公園施設との不整合が生じ、公園利用の低下が懸念されます。
	・ 現在、幼児向けの遊具が設置されていますが、増加している高齢者世帯のニーズへの対応も必要です。
	・ 働き盛りの世帯が増加している地区で、公園にはすべり台、シーソー等の遊具のみ設置されている公園もあり、土日祝日のウォーキング等のニーズへの対応が必要です。
	・ ファミリー世帯が増えている地区で、地域の親世代から、子どもが遊んでいる際に、安心して見守ることのできるスペースが欲しいとの意見が挙げられています。
公園施設の課題	・ 本市の公園は、1970年代以降の市街地整備事業により整備された公園が数多くあり、一気に老朽化し、安全性が低下します。公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な公園施設の修繕、更新等が必要です。
	・ 現在の遊具施設は、安全領域が確保されていないものや、頭・指の挟みこみなど安全性の面での改善が必要な施設も見られることから（公園施設長寿命化計画より）、安全面への配慮が必要です。
	・ 整備時期が古い公園は、出入口や園路に段差のある箇所もあることから、バリアフリー化への対応が必要です。
	・ 公園の一部で、車椅子利用者の通行が困難（園路の幅員が足りていない等）な箇所があることから、その対応が必要です。
	・ 周辺の公園が、すべり台、砂場、ブランコなど限られた施設で、画一的な公園も見られることから、地区のニーズを踏まえた施設の更新が必要です。
	・ 防犯、景観上、植栽の密度が高い公園では、剪定や間伐が必要です。
	・ 公園の一部に貴重種が生息している公園もあることから、その生育環境の保全への対応が必要です。（例 四季の里公園 カキツバタ 茨城県における絶滅のおそれのある野生生物 植物編 2012年改訂版 選定種一覧 絶滅危惧II類）
公園の 維持管理・運営に 関連する課題	・ 将来の人口減少を考慮すると、過大な遊具施設の整備は、施設の維持管理が困難になる可能性があります。
	・ 立沢公園の夏祭りや四季の里公園のあやめ祭り等は、観光資源としても活用されているので、よりイベントに対応できる公園施設の配置計画が必要です。
	・ 本市では、市民団体との協働で公園里親事業や公園維持管理事業等も行っています。公園の活用や維持管理には、地域住民の協力が必要ですが、参加団体の高齢化により、継続した活動が課題です。